

まちづくり委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎野白 康平、○小山 恭平、木下 淳、門脇 遼史、
㊦松浦 瑞樹

2. 委員長所信（基本方針）

これまで安来青年会議所が実施したまちづくり事業では、参加した地域住民に笑顔が溢れ、協力してくださった企業・行政とも継続的で良好な関係を築いてきました。我々は、こうしたまちづくりの歩みと地域との絆を受け継ぎ、自分たちの住む安来を自分たちの手でより良くしていくという意志のもと、地域の未来に向けた取り組みが必要だと考えます。

この考えのもと、我々はまちへ活気を創出することを目的とし、地域との繋がりをカタチにするまちづくりを推進します。その一環として地域住民・企業・行政等と連携し、まちの魅力を再発見できる機会を企画します。地域の価値を再認識することは住民の誇りや愛着を育み、まちへの関心を高めます。その結果として地域に対する主体的な関わりが促され、まちづくりの重要性への理解が広がります。さらに、世代や業種を超えた交流は、異なる価値観や経験が交わり互いの理解を深め地域内の人間関係を豊かにし、継続的な協力体制の構築につながります。そうして、多様な人々が関わることで、地域活動への参加が促進され、まち全体が賑わい活性化していくことを目指します。

まちづくりとは絆づくりであり、未来づくりです。未来をつくるには、地域がもつ価値を見つめ直し、住民一人ひとりがまちに誇りと愛着をもつことが重要です。「このまちで暮らしてよかった」と心から思える活気溢れる地域社会の実現に向けて、仲間とともに全力で取り組んでまいります。

3. 事業計画

1) 2月例会並びに第180回通常総会の開催（2月）

（目的）総会を開催し定款第3章第17条「事業計画及び収支予算の決定並びに変更」の事項について決議します。

（方法）通常総会を厳粛かつ円滑に開催します。

2) 4月例会並びにまちづくり事業の開催（4月）

（目的）地域住民がまちの魅力に気づき、愛着をもつことを目指します。

（方法）安来の魅力を再発見できる機会を企画します。

3) 7月例会並びにまちづくり事業の開催（7月）

（目的）業種を超えた人材の交流により、継続的な関係を構築します。

（方法）関係者と繋がりを通じて、互いの理解を深める機会を企画します。

4) 9月例会並びにまちづくり事業の開催（9月）

（目的）過去の事業の成果と課題を振り返り、今後のまちづくりに活かします。

（方法）地域活動として実施した事業を検証し、得られた知見を共有・整理します。

5) ふれあい年末号の発刊（12月）

（目的）安来市民の皆様に年間の活動成果を広く周知します。

（方法）広報誌「ふれあい年末号」を安来市内の山陰中央新報購読者を対象に発刊します。

4. 事業予算

総事業予算 258,500 円

実施事業名	実施時期	事業予算	事業区分	備考
2月例会並びに第180回通常総会	2月	8,500円	その他	
4月例会／まちづくり事業	4月	50,000円	継続事業	
7月例会／まちづくり事業	7月	20,000円	継続事業	
9月例会／まちづくり事業	9月	20,000円	継続事業	
広報誌ふれあい(年末号)	12月	160,000円	継続事業	